

《担当者名》講師 / 礒部 太一

非常勤講師 / 秋月 一城 非常勤講師 / 岩井 宏之 非常勤講師 / 清川 宗克
非常勤講師 / 蓑輪 隆宏 非常勤講師 / 蓑輪 雅宏 特別講師 / 小川 由美

【概要】

医療倫理と生命倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料などを参照しながら、ワークショップ、グループワーク、発表などを実施し能動的に学ぶ。実際の医療現場で問題となっている事例（患者・医療者関係、安楽死と治療停止など）だけではなく、社会における医療の役割などを学際的な観点から幅広く取り扱う。また、歯科医学・医療の職業倫理を実務家の講義を踏まえて理解する。

【学修目標】

医療倫理・生命倫理の基本的な概要や問題事例を理解し身につける。

医療倫理・生命倫理の概要について、自分の日常生活と関連付けながら学ぶ。

グループワークと発表などの参加型の学習を通じて、議論するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う。

歯科医学・医療の職業倫理を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	授業全体の予定や授業の進め方などの説明	礒部 太一
2	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	生命倫理の概要と社会的・歴史的変遷について概説できる。	礒部 太一
3	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	生命倫理の概要と社会的・歴史的変遷について概説できる。	礒部 太一
4	「患者-医療者」関係	医の倫理、新しい医療のモデル、患者と医療者関係について概説できる。	礒部 太一
5	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史と意義について概説できる。	礒部 太一
6	職業倫理 ・ 医の倫理 (I)	歯科医学・医療の職業倫理を理解する。	岩井 宏之 礒部 太一
7	職業倫理 ・ 医の倫理 ()	歯科医学・医療の職業倫理を理解する。	清川 宗克 礒部 太一
8	職業倫理 ・ 医の倫理 ()	歯科医学・医療の職業倫理を理解する。	蓑輪 雅宏 礒部 太一
9	職業倫理 ・ 医の倫理 ()	歯科医学・医療の職業倫理を理解する。	秋月 一城 礒部 太一
10	職業倫理 ・ 医の倫理 ()	歯科医学・医療の職業倫理を理解する。	蓑輪 隆宏 礒部 太一
11	医療における原理・原則 ・ 医療面接 (コミュニケーション)	医療面接や医療コミュニケーションの概要について説明できる。	小川 由美 礒部 太一
12	安楽死と治療停止	安楽死の歴史と概要、安楽死の問題点、安楽死を巡る日本の状況、安楽死と治療停止について概説できる。	礒部 太一
13	医の倫理に関する規範	「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」に即して実施されている歯学教育の中で医の倫理に関する内容を理解する。	礒部 太一
14	医の倫理に関する規範	「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」に即して実施されている歯学教育の中で医の倫理に関する内容を理解する。	礒部 太一
15	歯科医療と社会 医療の役割	健康と病気、医療の倫理、医学の進歩と医学研究 歯科医療と社会の関係を考察する。	礒部 太一

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポート（100%）

【教科書】

神里 彩子・武藤 香織 編（2015）『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』東京大学出版会

全国歯科衛生士教育協議会監修（2014）『最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理第2版』医歯薬出版株式会社

【参考書】

玉井 真理子・大谷 いづみ 編（2011）『はじめて出会う生命倫理』有斐閣

小林 傅司（2007）『トランス・サイエンスの時代-科学技術と社会をつなぐ』NTT出版

戸田山 和久（2012）『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版

【学修の準備】

授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する（80分）。

授業内で出した課題について、次回の授業の際までに行っておく（50分）。

授業内で実施するグループワークと発表に積極的に参加する。一部、授業外で宿題として実施する（30分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を医療人間学の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を医療人間学の観点から修得する（社会的貢献）。

【実務経験】

秋月一城（歯科医師）、岩井宏之（歯科医師）、清川宗克（歯科医師）、蓑輪隆宏（歯科医師）、蓑輪雅宏（歯科技工士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療人としての実務経験を活かして、歯科医師等して持つべき医療倫理観を涵養する教育を実践している。